SPEAKER SYSTEM

S112V/S115V/S215V
SM10V/SM12V/SM15V

SUBWOOFER

SW115V/SW118V/SW218V

日本語

取扱説明書

このたびは、ヤマハ製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
スピーカーを安全にご使用いただき、優れた性能を十分に生かして末永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前に必ずお読みください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

目次

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。
お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
⚠	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
🚫	～しないでくださいという「禁止」を示します。
❗	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

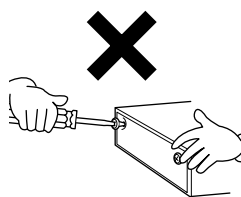
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

⚠ 警告

分解禁止

禁止

この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。

水に注意

禁止

この機器の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

故障の原因になります。

⚠ 注意

設置

必ず実行

スピーカースタンドを使用する場合は、以下の点に注意する。
ご使用方法を誤ると、スピーカーが転倒して破損したり、お客さまや他の方々が、けがをしたりする原因になります。
－平らな場所に設置して、ぐらつきのないことを確認する
－スタンドの脚は最大に開いた状態で使用する
－設置したスタンドの回りは、人の立ち入りを制限する
－1 台のスタンドに、1 台のスピーカーのみを設置する
－付属のネジがある場合は必ずそれを使用する
－固定用のネジはしっかり締める
－スタンドを移動したり高さを調整したりする前に、スピーカーをスタンドから取り外す
－スタンドは 140 cm 以下の高さで使用する
－3 つのスタンドの脚それぞれに、砂袋（4 kg 以上）などで重量を付加して安全 / 転倒対策を施す

必ず実行

サブウーハーSW115V/SW118V のメタルソケットを使用して、サテライトスピーカーを取り付ける場合は、外径が 35mm で、長さが 90cm より短いポールを使用する。
この機器が転倒して破損したり、内部の部品を傷つけたり、お客さまや他の方々がけがをする原因になります。

必ず実行

この機器を持ち運びする場合は、必ず 2 人以上で行なう。
この機器が落下して破損したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。

必ず実行

この機器を移動するときは、必ず接続ケーブルをすべて外した上で行なう。
コードをいためたり、お客様や他の方々が転倒したりするおそれがあります。

禁止

直射日光のあたる場所やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しない。
この機器のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。

禁止

不安定な場所に置かない。
この機器が転倒して故障したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。

接続

必ず実行

他の機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器の音量（ボリューム）を最小にする。
聴力障害または機器の損傷になることがあります。

必ず実行

スピーカー接続には、スピーカー接続専用のケーブルを使用する。
それ以外のケーブルを使うと、火災の原因になることがあります。

必ず実行

スピーカーを並列接続する場合は、必ずアンプの規定負荷インピーダンスの範囲内 (28 ページ参照) で接続する。
アンプの故障の原因になります。

使用時の注意

禁止

大きな音量で長時間スピーカーを使用しない。
聴覚障害の原因になります。

禁止

音が歪んだ状態ではこの機器を使用しない。
機器が発熱し、火災の原因になることがあります。

必ず実行

スピーカーの故障を防ぐために、電源を入れるときは、一番最後にアンプの電源を入れる。また、電源を切るときは、一番最初にアンプの電源を切る。

禁止

この機器に許容以上 (30 ページ参照) の入力をしない。
また、以下のような音 (ノイズ) に対しては、故障や火災のおそれがありますので、ご注意ください。
－マイクロフォン使用時のハウリング音
－電子楽器からの連続した大音量の音
－異状に歪んだ連続音
－アンプの電源を入れた状態でのケーブルの抜き差しによるポップノイズ

不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

＊　この取扱説明書に記載されている会社名および商品名は、各社の登録商標および商標です。
＊　この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて操作説明のためのものです。したがって実際の仕様と異なる場合があります。

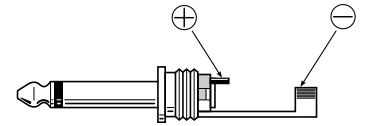
・2 台以上のスピーカーを使用する場合は、必ずアンプとこの機器の極性 (+,-) を合わせてください。極性が合っていない場合は、スピーカーの音が相互に干渉しあい、音のバランスがくずれることがあります。

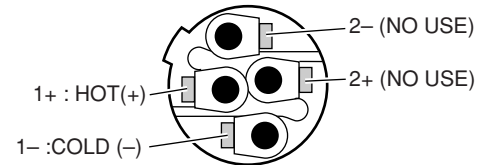
・スピコン型コネクターの接続には、Neutrik NL4FC プラグのスピーカーケーブルをお使いください。

ポリスイッチ
スピーカーシステムには、自動復帰型ポリスイッチが内蔵されているため、過電流による故障から高音域ドライバーを保護します。スピーカーシステムのキャビネットから高音域が出力されない場合は、すぐにパワーアンプの電源を切り、ポリスイッチをリセットする (冷やす) ために、2～3分そのままにしてください。再度電源を入れ、高音域ドライバーの出力を確認してください。サブウーファーについても、ポリスイッチが低音域ドライバーを保護しているため、低音域が出力されない場合は、上記と同じようにしてください。

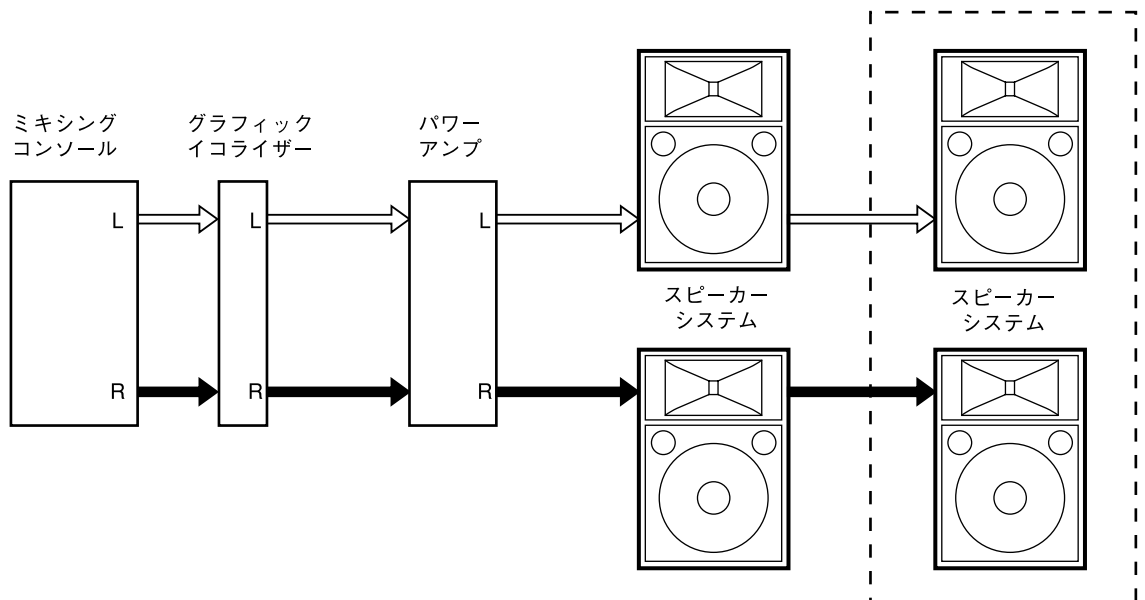
接続

■ フォーンプラグの配線

フォーンプラグは図のように配線してください。ケーブルは、
スピーカーケーブルを使用してください。

■ スピコン Neutrik NL4FC プラグの配線

Neutrik NL4FC プラグは図のように配線してください。
ケーブルは、スピーカーケーブルを使用してください。

Neutrik NL4FC connector

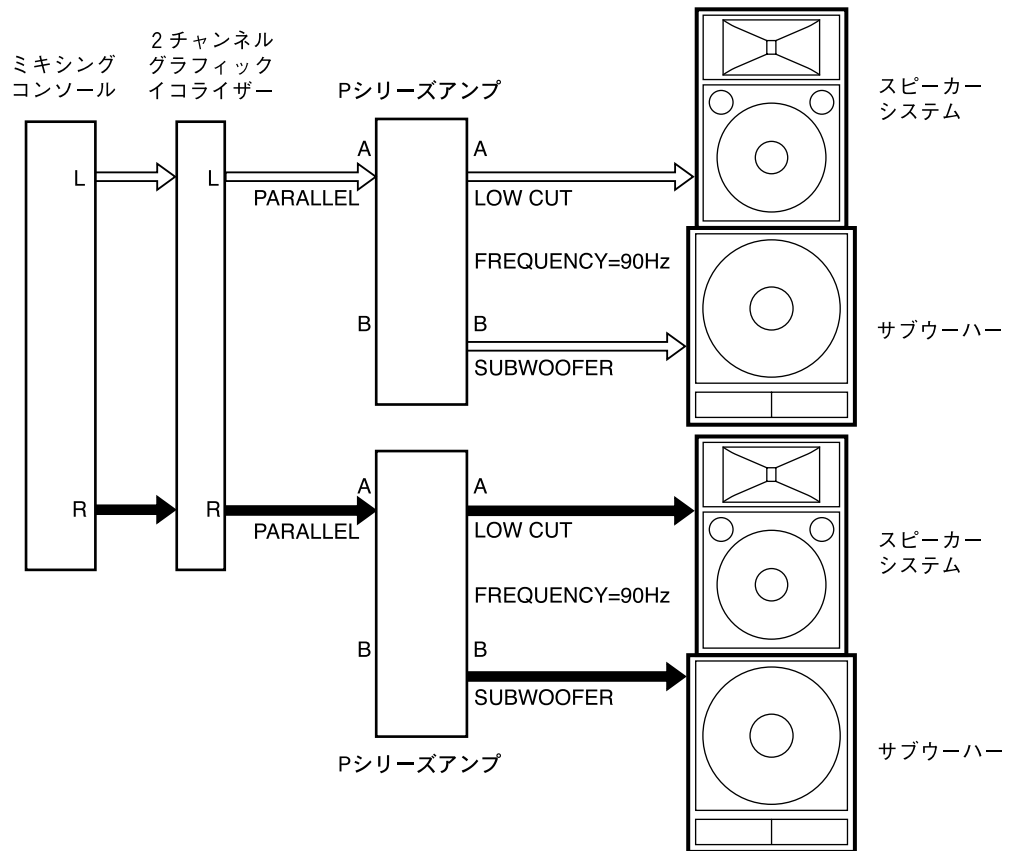
■ スピーカーの並列接続

これらのスピーカーには、4 つの入力端子 (フォーンジャック 2 つ、スピコン端子 Neutrik NL4MP 2 つ) がついています。パワーアンプからの信号をフォーンジャックまたはスピコン端子で受け、残りのフォーンジャックまたはスピコン端子から 2 台目のスピーカーに信号を送り出すことができます。

インピーダンスについて

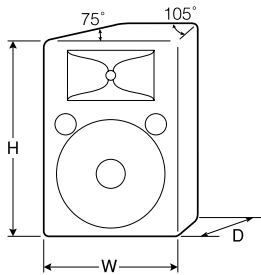
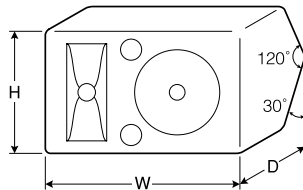
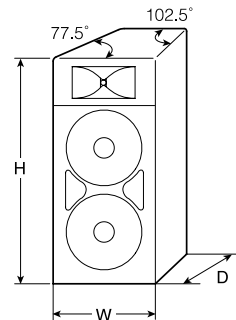
スピーカーを並列接続する場合は、パワーアンプの負荷インピーダンスを確認してください。通常のパワーアンプは、8Ω または 4Ω の最小負荷インピーダンスで安定して動きます。8Ω のスピーカー 2 台を並列接続すると、負荷インピーダンスは 4Ω になります。8Ω のスピーカー S112V/S115V/SM10V/SM12V/SM15V/SW115V/SW118V は、4Ω の最小負荷インピーダンスのパワーアンプに 2 台まで並列接続できます。しかし、4Ω のスピーカー S215V/SW218V は、並列接続できません。ただし、負荷インピーダンス 2Ω 以下で安定して動くパワーアンプを使用するときは、並列接続できます。

■ サブウーハーとＰシリーズアンプの接続

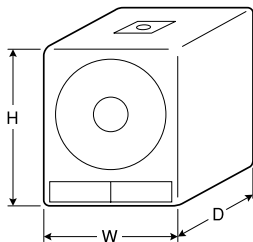
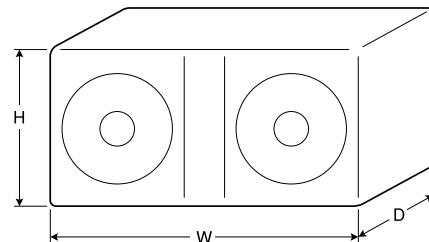
以下の図のようにスピーカーシステムにサブウーハーを加えることで、周波数の帯域を広げて良質な音をつくることができます。プリアンプまたはミキシングコンソールからのラインレベル信号をヤマハＰシリーズアンプ (P7000S/P5000S/P3500S/P2500S) に入力し、各周波数の帯域に分けて出力します。

日本語

仕様

品番		SM10V	S112V	SM12V	S115V	SM15V	S215V
エンクロージャー		バスレフ型					
スピーカーユニット	LF	10" コーン	12" コーン		15" コーン		15" コーン × 2
	HF	1" V.C. ドライバー	2" V.C. ドライバー				
再生周波数帯域		70Hz ～ 20kHz	60Hz ～ 16kHz		55Hz ～ 16kHz		42Hz ～ 16kHz
許容入力	NOISE*	125W	175W		250W		500W
	PGM	250W	350W		500W		1000W
	MAX	500W	700W		1000W		2000W
公称インピーダンス		8Ω					4Ω
出力音圧レベル		96dB SPL(1W、1m)	97dB SPL (1W、1m)		99dB SPL (1W、1m)		99dB(1W、1m)
公称指向角度	水平	40°	90°	40°	90°	40°	90°
	垂直	60°	40°	90°	40°	90°	40°
クロスオーバー周波数		1.8kHz	2kHz		1.7kHz		1.5kHz
入力端子		フォーンジャック × 2, スピコン端子 Neutrik NL4MP × 2					
最大外形寸法 (W × H × D)		560 × 353 × 277	420 × 632 × 333	632 × 414 × 351	489 × 719 × 377	719 × 483 × 343	495 × 1167 × 597
質量		13.4kg	20.8kg	21.4kg	29.4kg	28.0kg	47.2kg

S112V/S115V

SM10V/SM12V/SM15V

S215V

品番		SW115V	SW118V	SW218V
エンクロージャー		バスレフ型		
スピーカーユニット		15" コーン	18" コーン	18" コーン × 2
再生周波数帯域		35Hz ～ 2kHz	30Hz ～ 2kHz	30Hz ～ 2kHz
許容入力	NOISE*	250W	300W	600W
	PGM	500W	600W	1200W
	MAX	1000W	1200W	2400W
公称インピーダンス		8Ω		4Ω
出力音圧レベル		95dB SPL(1W、1m)	96dB SPL(1W、1m)	98dB SPL (1W、1m)
推奨クロスオーバー周波数		90Hz、12dB/oct.		
入力端子		フォーンジャック × 2, スピコン端子 Neutrik NL4MP × 2		
最大外形寸法 (W × H × D)		506 × 611 × 532	610 × 728 × 641	1221 × 578 × 659
質量		28.2kg	39.0kg	65.4kg

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

SW115V/SW118V

SW218V

＊ : EIA RS-426
単位 : mm

サービスについて

■ 保証書

この商品には保証書がついています。販売店でお渡ししていますから、ご住所・お名前・お買上げ年月日・販売店名など所定事項の記入および記載内容をおたしかめの上、大切に保管してください。

保証書は当社がお客様に保証期間内の無償サービスをお約束するもので、この商品の保証期間はお買上げ日より 1 年です。

保証期間内の転居や、ご贈答用に購入された場合などで、記載事項の変更が必要なときは、事前・事後を問わずお買上げ販売店かお客様ご相談窓口、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご連絡ください。継続してサービスできるように手配いたします。

■ 損害に対する責任

この商品（搭載プログラムを含む）の使用または使用不能により、お客様に生じた損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、その他の特別損失や逸失利益）については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、如何なる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払になったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

■ 調整・故障の修理

「故障かな ?」と思われる症状のときは、この説明書をもう一度よくお読みになり、電源・接続・操作などをおたしかめください。それでもなお改善されないときには、お買上げ販売店へご連絡ください。調整・修理いたします。

調整・修理に際しては保証書をご用意ください。保証規定により、調整・修理サービスをいたします。また、故障した製品をお持ちいただくか、サービスにお伺いするのかも保証書に書かれています。

修理サービスは保証期間が過ぎた後も引き続きおこなわれ、そのための補修用性能部品が用意されています。性能部品とは製品の機能を維持するために不可欠な部品のことをいい、PA 製品ではその最低保有期間は製造打切後 8 年です。この期間は経済産業省の指導によるものです。

■ お客様ご相談窓口

ヤマハ PA 製品に関するご質問・ご相談は下記のお客様ご相談窓口へ、アフターサービスについてのお問合わせはヤマハ電気音響製品サービス拠点へおよせください。

● お客様ご相談窓口 : ヤマハプロオーディオ製品に対するお問合せ窓口

ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター
Tel: 03- 5791- 7678　Fax: 03-5488-6663 （電話受付＝祝祭日を除く月～金 /11:00 ～ 19:00）
ONLINE support : http://proaudio.yamaha.co.jp/

● 営業窓口

国内楽器営業本部 LM 営業部 企画推進室	☎ 03-5488-5430	〒 108-8568	東京都港区高輪 2-17-11
PA・DMI 事業部 MP 推進部 マーケティンググループ	☎ 053-460-2432	〒 430-8650	浜松市中沢町 10-1

● ヤマハ電気音響製品サービス拠点（修理受付および修理品お持込み窓口）

◆ 修理のご依頼 / 修理についてのご相談窓口

ヤマハ電気音響製品修理受付センター
受付時間　月曜日～金曜日　9:00 ～ 19:00、土曜日　9:00 ～ 17:30
（祝祭日および弊社休業日を除く）
ナビダイヤル（全国共通番号）　「市内通話料で OK ナビダイヤル」0570-012-808
※一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。
FAX　(053)463-1127

◆ 修理品お持込み窓口

受付時間　月曜日～金曜日　9:00 ～ 17:45 （祝祭日および弊社休業日を除く）
＊ お電話は、電気音響製品修理受付センターでお受けします。

北海道サービスステーション	FAX 011-512-6109	〒 064-8543	札幌市中央区南 10 条西 1 丁目 1-50 ヤマハセンター内
首都圏サービスセンター	FAX 03-5762-2125	〒 143-0006	東京都大田区平和島 2 丁目 1-1 京浜トラックターミナル内 14 号棟 A-5F
浜松サービスステーション	FAX 053-462-9244	〒 435-0016	浜松市和田町 200 ヤマハ (株) 和田工場内
名古屋サービスセンター	FAX 052-652-0043	〒 454-0058	名古屋市中川区玉川町 2 丁目 1-2 ヤマハ (株) 名古屋倉庫 3F
大阪サービスセンター	FAX 06-6330-5535	〒 564-0052	吹田市広芝町 10-28 オーク江坂ビルディング 2F
九州サービスステーション	FAX 092-472-2137	〒 812-8508	福岡市博多区博多駅前 2 丁目 11-4

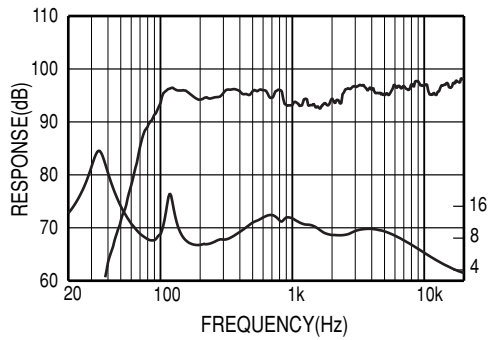
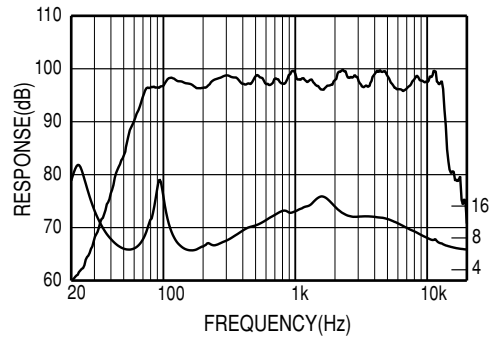
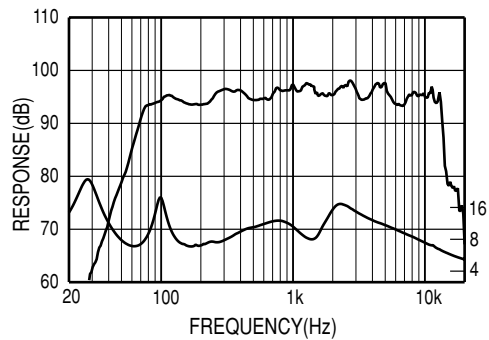
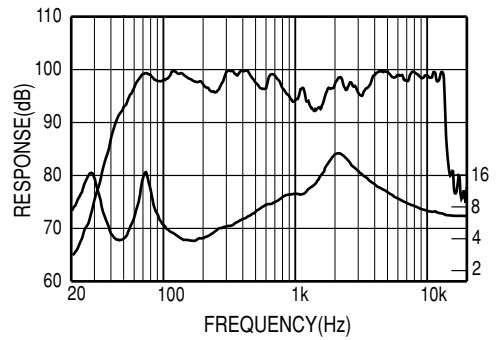
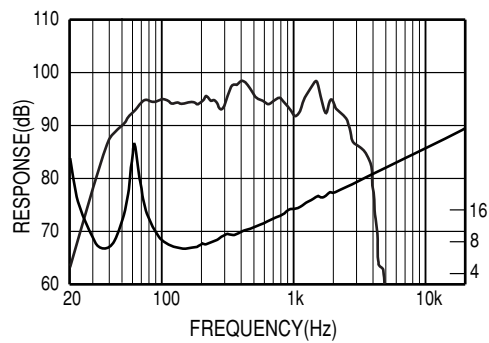
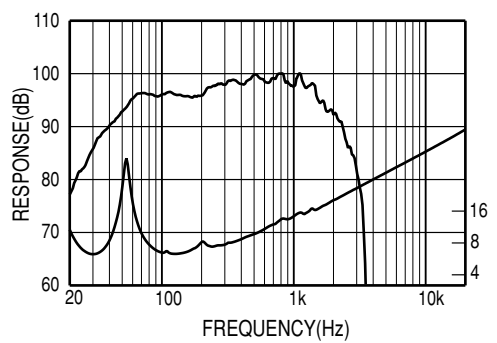
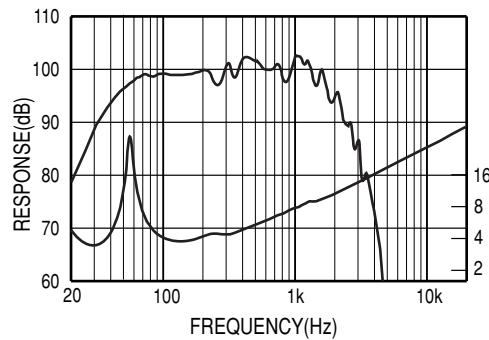
＊ 名称、住所、電話番号、URL などは変更になる場合があります。

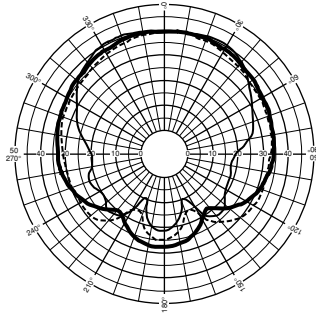
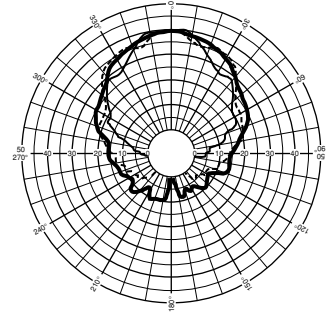
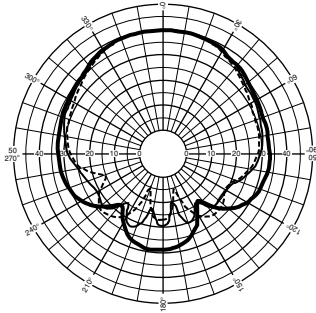
ヤマハプロオーディオウェブサイト
http://proaudio.yamaha.co.jp/
ヤマハマニュアルライブラリー
http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/

日本語

Technical Data/Kennlinien/Données techniques/Datos técnicos

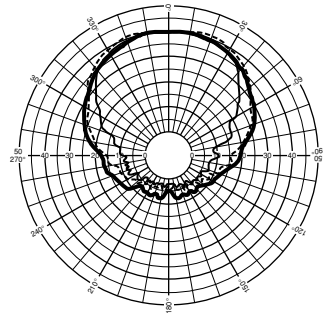
■ Frequency Response/Impedance

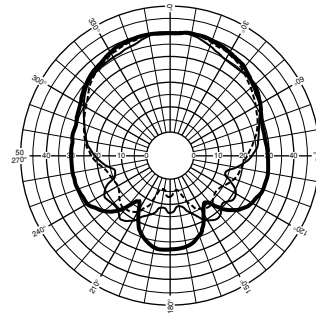
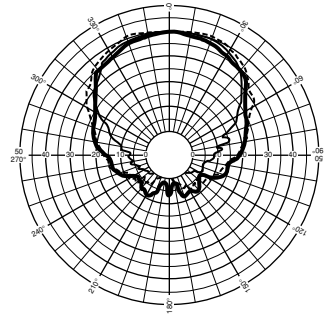
• SM10V

• S115V/SM15V

• S112V/SM12V

• S215V

• SW115V

• SW118V

• SW218V

■ Horizontal Directivity

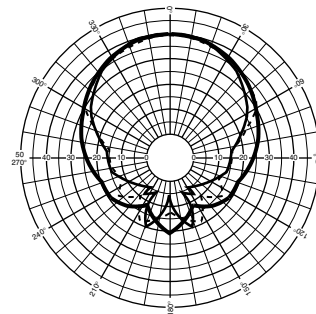
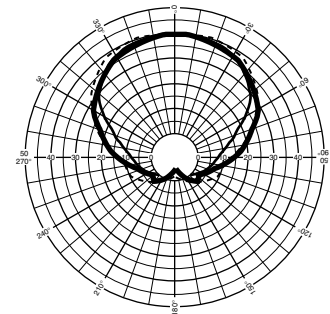
• SM10V

• 500Hz ▬
• 1kHz -----
• 2kHz ——

• 4kHz ▬
• 8kHz -----
• 16kHz ——

• S112V/SM12V

• 500Hz ▬
• 1kHz -----
• 2kHz ——

• 4kHz ▬
• 8kHz -----
• 16kHz ——

• S115V/SM15V

• 500Hz ▬
• 1kHz -----
• 2kHz ——

• 4kHz ▬
• 8kHz -----
• 16kHz ——

• S215V

• 500Hz ▬
• 1kHz -----
• 2kHz ——

• 4kHz ▬
• 8kHz -----
• 16kHz ——

■ Vertical Directivity

• SM10V

• 500Hz ━━
• 1kHz -----
• 2kHz ——

• 4kHz ━━
• 8kHz -----
• 16kHz ——

• S112V/SM12V

• 500Hz ━━
• 1kHz -----
• 2kHz ——

• 4kHz ━━
• 8kHz -----
• 16kHz ——

• S115V/SM15V

• 500Hz ━━
• 1kHz -----
• 2kHz ——

• 4kHz ━━
• 8kHz -----
• 16kHz ——

• S215V

• 500Hz ━━
• 1kHz -----
• 2kHz ——

• 4kHz ━━
• 8kHz -----
• 16kHz ——